だんじり例会ご報告②

第1163回例会　9月17日(土)17時半～
於：岸和田・うどんとふぐべ

10月例会スケジュールおよび卓話担当者ご案内

10月 4日　インボイス制度について　講師：泉佐野税務署 中島 直哉 様
10月11日　卓話　番匠谷 光晴 君　第4回定例理事会
10月18日　卓話　古川 友治 君
10月25日⇒24日(月)に変更　卓話　堀 信一 君　例会後はターミナル視察です。

にこにこ箱

新井 昭人 君 ･･･ グエン ハ アイン様、本日はようこそお越し下さいました。
卓話、宜しくお願い致します。
番匠谷光晴君 ･･･ 明松さん、だんじり例会有難うございました。来年もよろしく。
昼馬 義宏 君 ･･･ グエン ハ アイン君、本日はようこそいらっしゃいました。
ベトナムの話を楽しみにしています。
片平　聡 君 ･･･ 妻の誕生日祝、有難うございました。当日忘れていて冷汗かきました。
川﨑 真範 君 ･･･ 早退します。すいません！
髙橋 克広 君 ･･･ 前回例会欠席のお詫び。
筒井 敦子 君 ･･･ 遅刻しました。すいません。

第1165回例会
ニコニコ箱 ￥ 25,000
今年度累計 ￥ 177,000

第１１６５回例会出席報告

総会員数	１７名
名誉会員数	４名
出席計算会員数	１７名
出席	１２名
メークアップ	０名
欠席	５名
出席率	７０．５８％
前回出席率	５８．８２％

☆皆出席テーブル
Ｍ２

☆ビジター
米山奨学生
グエン ハ アイン様
・和歌山大学
・松原中RC

☆メークアップ
なし

第１１６６回例会

２０２２年 １０月４日

関西国際空港ロータリークラブ

カンプチア航空
L-1011トライスター

写真提供・解説：元・住重関西施設管理(株) 片山敏彦 様

これは、チャーター便として関空を訪れたカンボジア/カンプチア航空の「ロッキードL-1011トライスター」です。トライスターは、ANAでも使われていたロッキード製３発機で、先日お越しいただいた乙訓昭法様も機長として運航に携わっておられました。カンプチア航空では、ANAで運航を終え移籍した機材も使われていたようです。

今週のプログラム

≪ 卓話 ≫
「インボイス制度について」
講師：泉佐野税務署 管理運営第一部門
総括上席　中島 直哉 様

今週のロータリーソング

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国(みくに)に捧げん我等の 業(なりわい)
望むは世界の久遠(くおん)の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久(とわ)に栄えよ
我等のロータリー
ロータリー

本日のメニュー

冷菜3種盛り合わせ
国産ふかひれ入り
きのこのとろみスープ
牛肉と彩り国産野菜の
甘辛ソース炒め
海老のチリソース炒め煮
飲茶2種盛
白ご飯
コーヒー

IMAGINE ROTARY

国際ロータリー2022-2023年度会長
ジェニファー・ジョーンズ
2022－2023年度
国際ロータリーのテーマ
「イマジンロータリー」

次例会

第 1167 回
2022年 10月11日

≪卓話≫
「社会学てなんじゃい」

担当：
番匠谷 光晴 君

R.I.第2640地区
関西国際空港ロータリークラブ

事務局
〒549-0001
大阪府泉佐野市泉州空港北1番地
ホテル日航関西空港内
TEL 072-455-4766
FAX 072-455-4767
e-mail kankurc@rhythm.ocn.ne.jp

例会　毎週火曜日 12:30
ホテル日航関西空港内
(『ジェットストリーム』)
TEL 072-455-1111

会長　新井昭人
幹事　渡邊員行
会報委員長　川﨑真範
会報委員　髙橋克広

四つのテスト

真実かどうか
みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

先 週 例 会 報 告

関西国際空港ロータリークラブ

第１１６５回例会　９月２７日

会　　長　　報　　告

会長　新井 昭人 君

本日は、グエン・ハ・アイン様、ようこそお越し下さいました。
後ほどの卓話を楽しみしております。
さて、前回の会長報告では「秋の交通安全運動」についてお話させていただきました。先日、友人と豊岡のお店にお蕎麦を食べに行ったのですが、帰りに北近畿自動車道という自動車専用道路を通りました。その中に有料のトンネルがあり、手前に警察官が待機していました。助手席のシートベルトを確認して、堂々と通過しようとしましたら呼び止められまして。「シートベルトされてませんよね。」と言われ、「え？」と思いましたら「後ろの席の方。」と…。一般道では後ろの席のシートベルトは任意なんですが、自動車専用道路では着用しないといけません。
こういう道路では、よくゲートの所で警察官が立って見ていますが、あれは後部座席のシートベルトを見ているんですね。これ、罰金は無いんですが1点引かれてしまいます。長い間ゴールド免許だったのですが、次回の更新ではそうじゃなくなるな、とガッカリしてしまいました。
これもハンドルを握れば全て自分の責任になりますので、皆様もくれぐれもお気をつけ下さい。
ちなみに、高速道路の車線変更の線がありますが、あの白い線の長さを皆さんご存じでしょうか？
実は、白い線が12m、その間隔が8mなんです。白線と間隔を足して20m。車間距離を100m開けましょう、という時は、あの白い線が5本見えていたら100m開けているという事になります。
車の中で友人が教えてくれました。そういう事かとその時は感心していたのですが、ゴールド免許を失った事の方がショックでした。皆さんもどうぞお気をつけ下さい。

訪　　問　　客　　紹　　介

卓話講師：米山奨学生
グエン・ハ・アイン様
（和歌山大学・松原中RC）

幹　　事　　報　　告

幹事　渡邊 員行 君

【回覧】
◎11月5日（土）、6日（日）「地区大会」出欠表
1日目：11月5日（土）和歌山城ホール（主に会長が対象）
晩餐会：ダイワロイネットホテル和歌山 18時～
2日目：11月6日（日）ホテルグランヴィア和歌山
（会長・幹事・会員が対象）

◎11月12日（土）「南輪会ゴルフ大会」出欠表
場所：天野山カントリークラブ
堺市南区別所1549-46　電話 072-284-1919
登録料：5,000円（１～3月の会費請求で徴収予定です）

◎他クラブ例会情報

【配付】
◎11月6日（日）地区大会・一般公開講演チラシ　会報に挟んでおります。
（株）島精機製作所 代表取締役会長　島　正博 様 の講演です。

卓　　話

《 米山月間にちなんで 》

委員長　昼馬 義宏 君

10月は米山月間という事で、本日はベトナムからの奨学生グエン・ハ・アイン君にお越しいただきました。
本日、米山の豆辞典をお配りしていると思いますので、またお時間のある時に読んでいただければと思います。
米山の目的は、日本に来ている海外の留学生の方達に、日本とロータリーをよく理解していただき、将来母国に帰国した際には日本とロータリーの良い架け橋になっていただけるように、とされています。
今年は普通寄付金に加えて、特別寄付金のご協力も皆様にご了承いただきました。有難うございます。
この寄付金が役に立ちますよう願っております。
グエン・ハ・アイン君は、和歌山大学経済学部の4回生です。
本日は「国と自己紹介」というテーマでお話いただきます。宜しくお願い致します。

《 国と自己紹介 》

グエン・ハ・アイン様

私は、松原中クラブのNGUYEN HA ANH（グエン・ハ・アイン）と申します。今回の卓話で、自分の国と自己紹介をさせていただきます。
私はベトナムから来ました。高校生の頃、日本語を勉強し始めました。この事は私に強く影響しており、日本の企業を深く研究し、広い視野と鋭い洞察力を持ちたいと思いました。
日本人の働き方や考え方など、日本のような世界の最先端の知識に触れるためには、留学が自分の運命だと覚悟しました。
ベトナムの大学入試試験で高得点をとった私は、名門大学へ入学できるはずでしたが、母と同じ運命を辿るように経済的理由でその夢が叶わなかった。幸いなことに、貸与型奨学金を受領し、日本に留学できました。
私は和歌山大学経済学部４年生です。研究テーマは「海外送金が途上国の経済発展に与える影響」です。テーマを選んだ理由は、近年、海外送金に対する関心が高まり、国際的な議論の対象となっているからです。開発途上国への海外送金は、政府開発援助を上回り、直接投資の流入に匹敵すると言われており、開発途上国の経済発展を支援する上で重要な要素です。
私の趣味はボランティアに参加することと交流することです。ただ今、在大阪ベトナム青年学生協会で副会長としてボランティア活動をしております。
次に、ベトナムのアオザイや料理やコーヒーなどについて、紹介させていただきます。
ベトナムの民族衣装であるアオザイは、ベトナムで最も印象的な美の象徴の1つで、アオザイは老若男女を問わず高く評価されており、そのエレガントなラインは男性と女性のどちらも引き立てます。

ベトナムの民族衣装「アオザイ」

ベトナムの主食は、米もしくは米粉を使った麺、そしてそれに合わせて野菜とお肉やお魚を頂きます。麺類も色々種類がありますが、その殆どが米粉から作られており、日本よりもお米を消費していると感じます。
エッグ・コーヒー は、ロブスタ種のコーヒーに卵黄、砂糖、加糖練乳を混ぜて飲まれるベトナムの伝統的な飲料です。
エッグ・コーヒーは、溶いた卵黄に砂糖とコーヒーで作られ、そしてカップの半分ほどコーヒーを注いだ後、卵黄を温めて溶いた同量のエッグクリームを注ぎます。
最後に、私は奨学生として、月に1回、お世話になっているクラブの例会に参加することができます。例会を通して、偉いロータリアンの方々とお話ができて、そして例会の卓話で、さまざまな社会問題に接触することができました。
奨学生になってわかってきたのは、社会に対する自分の責任ということです。
同時に自分の生き甲斐も見つけました。